

# ひょうご 職親会だより

2003.7 第13号

## 目次

### 《報告》

- 1.社会復帰(就労支援)研修会……………P1~3
- 2.平成15年度総会・講演会……………P4~7

### 伝言板

- 県知事・県議会議長・神戸市長へ要望書提出
- 全国精神保健職親研修会、来年度兵庫県で開催
- 調査報告書完成(精神障害者の就労支援の取り組みに関する調査報告書)
- 障害者雇用促進企業からの物品等調達等の取り扱い開始

注) 下記研修会は、昨年度に実施したのですが、前号で未記載の為、今回掲載しております。

## 社会復帰(就労支援)研修会 H15.3.27 於:六甲荘

### 1 実践報告

グループ就労への試み(別名…ローソンプロジェクト)  
メッセージ…「当事者から」&「支援者から」

#### 別名「ローソンプロジェクト」とは?

H13年10月から4ヶ月余りの間、コンビニ「ローソン」において社会適応訓練事業を実施。1ヶ月間の実習期間を経た上で、2~3人が1グループとなって1日3時間ずつ(10:00~13:00と14:00~17:00の2パターン)入る。訓練生8人(デイケア・作業所等所属)でシフトを組み、週4~5日間をカバー。支援者(6名)は、訓練生所属の支援機関担当者と神戸市こころの健康センター相談員・神戸職安ジョブカウンセラー。訓練中は月1回訓練生・支援機関とのミーティングを重ねながら支援。…社会適応訓練事業を活用して1カ所の事業所で複数の訓練生と複数の支援機関で取り組んだ試みである。



## 当事者の思い

◆社会適応訓練事業は初めての体験でしたが、これまでバイト経験のある僕は「リハビリだからそんなに難しいものではないんだ」と楽観的に考えていました。しかし、関係機関への書類の準備や訓練開始前のストレスにより、発作を起こしてしまいました。僕の病気は「統合失調症」、発作は20分もすれば治まりますが、僕の動作の遅さも重なり心細くなってしまいました。ローソンで店長さんの「いらっしゃいませ」「またお越し下さいませ」に続いて店内の訓練生で同じように声を出して言う「ヤマビコ挨拶」が僕は内心好きでした。訓練は、店内の掃除・商品の補充・ごみ捨て等、早く店の仕事を覚えたい気持ちでいっぱいでした。今思えば少し神経質になり過ぎていたと思います。訓練時間の2時～5時は僕にとって丁度よかったです。オーナーさんの優しい声かけや相談員さんに訓練の様子を聞いて貰った事も助けになりました。

◆病気になって何度かアルバイトした。しんどい仕事を頼まれることがあった。自分は心の骨折をしているんだと思う。足を骨折している人に「走れ!!」とは云わないのに…。グループ就労は、お互いがんばり合ったりして良かった。お店の人も配慮してくれた。良い勉強になった。数ヶ月後、少し仕事がもの足りないと思うことがあったけど、頑張ってたて良かったと思う。

## 当事者の『働きたい…』

— 社適事業のこんな工夫もあるよ —

それぞれの思い(抜粋)

## 支援者から

### ◆配慮した点

協力事業所登録申込みを受けた相談機関が、将来の就労を踏まえて職安を巻き込んだ。希望者への説明会を行ったり、訓練生選出時は複数の関係機関が集まり話し合った。訓練中は個別担当による相談の継続はもちろんの事、職安ジョブカウンセラーと共に事業所訪問の実施や訓練生・支援者参加型のグループミーティングの実施を心がけた。

### ◆振り返って

ピアサポートが何より有益である事が示された。月1回の訓練生参加型ミーティングは、みんなの意見を共有し意気を高めることに有用だった。これまで「社会適応訓練事業」の事業所に対し単独の支援機関が関わる事が多かったが、今回のように複数の機関が関わり、ある程度の役割分担ができた事は、連絡調整に時間がかかるものの訓練生支援や事業所支援の回数や訓練内容の検討を密にでき、事業運営の透明性や客観性が高まったといえる。事業所への定期的なフォローと情報提供の在り方が今後の課題である。





## 「精神障害者の就労をどう支援してゆく??」

福岡県 地域生活支援センターのぞえ「風と虹」 施設長 / 倉知 延章

(なお、平成15年4月～東京福祉大学社会福祉学部 助教授)

### どうして?精神障害者が就労出来ないの?

\*支援者側の問題が大きい。支援者は「精神障害者が就労出来ると思っている?or思っていない?」

\*支援者が「出来ない」って正当化していませんか?

例…事業所にアプローチしていますか? 事業所に出向いた経験ありますか?

当事者に「無理なくていいよ」な～んて言ってませんか?

支援者が、引きこもり状態??していませんか??  
(引きこもり先は病院?・施設?等いろいろ)

### 支援者が“まちがい”の中に迷い込んでしまう

まちがい1:当事者の「働きたい」という思いを表現出来なくなる。働く意欲低下を招く。

まちがい2:支援者が「当事者が働く意欲を持っていない」との誤った判断をする。

まちがい3:働かずにQOLを上げることを考えてしまう。働かないことの正当化を招く。



### Point

働いている人を見て「自分も出来るかも?」

と思えるモデルが必要!!

可能性を抱ける・ニーズが出てくる!!!

### 【職業リハビリテーションにおいて支援者が持つべき視点】

- 相談では、当事者の意向・ニーズを聞き支援者の価値判断を入れない  
(当事者が大きな目標を言う時は、支援者を信用していない証拠)
- 当事者が等身大の自分を認識出来る支援  
(アセスメントは当事者が等身大の自分を理解するところ)
- 支援者と当事者は対等であり、当事者に決定権を全て任せる。「あなたの人生だからあなたが決めなさい」と。  
(失敗しても「それが出来ないことが解ったネ」とプラス評価をすることで経験が積み重ねてゆけるような継続的な支援) etc

キーワード… 支援者には「本気」が必要。もう一度自分を振り返って!!  
まず、動いてみよう。何かが見えてくるはず。



平成15年度

# 総会



## 【来賓祝辞】

◆県健康生活部障害福祉課／山本 嘉彦 課長

◆県立精神保健福祉センター／大西 道生 所長

以上お二人から心暖まるご祝辞を頂きました。失礼ながら紙面の都合上省略させていただきます。

## 総会

## 事業報告

事業名	年月日	場 所	内 容
1. 定期総会・講演会	14.6.21 (金)	たちばな職員研修センター	<b>《総会》</b> <b>《講演会》</b> 「笑いと健康～ユーモア川柳～」〈日本笑い学会会員・医師／隠岐 和之〉 *参加者／62名
2. 社会復帰研修会 (地域限定)	14.12.13 (金)	城崎大会議館	<b>《講話》</b> 社会適応訓練事業とは？〈県立精神保健福祉センター〉 <b>《現場からの報告》</b> ●社会適応訓練事業を体験して〈訓練生より〉 ●社会適応訓練事業を通して〈家族より〉 ●精神障害者を取り巻く労働施策の現状〈豊岡公共職業安定所／土肥 毅司〉 ●豊岡市における相談窓口業務の現状〈豊岡市福祉事務所／原田 弥寿久〉 <b>《懇親会・情報交流会》</b> *参加者／43名
	14.12.16 (月)	加古川市役所 10F 会議室	<b>《講話》</b> ●精神障害者雇用施策の現状と最近の法改正 〈加古川公共職業安定所／井上 博文〉 ●関係機関の取り組み 〈加古川就業・生活支援センター／五藤 真由美・小松 光代〉 <b>《実践報告～社会適応訓練事業を活用して～》</b> ●グループ就労の取り組み〈県立精神保健福祉センター〉 ●グループ就労を体験して〈訓練生2名〉 <b>《体験タイム～就労するって～》</b> ★内 容…履歴書の書き方：書いてみよう 面接のポイント：面接してみよう ★助言者…神戸公共職業安定所ジョブカウンセラー／貞丸 けい子 加古川公共職業安定所 *参加者／42名
3. 社会復帰 (就労支援) 研修会	15.3.27 (木)	六甲荘	テーマ：精神障害者の就労を考える ～いろんな働き方ってあるよネ～ <b>《実践報告～社会適応訓練事業を活用して～》</b> ●グループ就労の試みを通して〈訓練生2名・支援機関3カ所〉 <b>《講話》</b> ●「精神障害者の就労をどう支援してゆくの？」 〈地域生活支援センターのぞえ「風と虹」施設長／倉知 延章〉 *参加者／139名
4. 役員会	14.5.16 (木) 14.10.29 (火) 14.11.20 (水) 15.1.24 (金)	精神保健福祉センター // 城崎大会議館  精神保健福祉センター	議題「活動結果及び今年度の活動について」〈9名〉 議題「地域限定の職親研修会の開催、労働分野との勉強会」〈16名〉 議題「H14年度精神障害者社会適応訓練事業における各地の取り組みについて」〈10名〉 議題「精神障害者社会適応訓練事業の一般財源化に伴う今後の対応について」〈13名〉



5.調査研究	14.10～15.3	県下全協力事業所及び関係機関を対象に調査を実施 テーマ：「精神障害者の就労支援の取り組みに関する調査」 600冊発行・配布	
6.広報普及	14.9 15.1 随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ひょうご職親会だより／第11号 3,000部発行・配布</li> <li>● // // 第12号 //</li> <li>●リーフレット「手伝って下さい! 職場への第一歩」</li> </ul>	
7.他機関との連携・協力	14.11.3(日) 14.11.26(火) 14.11.28(木) 14.12.12(木) 15.2.14(金)  15.3.14(金)	メリケンパーク 県民会館 三木市教育センター 福崎健康福祉事務所 県庁(知事室・県議会議長室) 和田山健康福祉事務所	ハートフェスタ2002 ～花鉢販売・パネル出展～ 第1回障害者雇用・就業ネットワーク会議(森本会長) 生活保護担当職員研修会(森本会長) 管内職親交流会(事務局1名) 要望書提出:社適事業の地方交付税措置に伴い関係4団体名で県知事・県議会議長・神戸市長へ提出(森本会長) 保健福祉サービス調整会議(細見理事)
8.全国職親会への協力	14.10.3(木) ～4(金) 15.1.17(金) 15.3.14(金) ～15(土)	静岡県 熱海市 ウェルシティ湯河原 全家連会館 国立精神・神経センター	H14年度全国精神障害者社会適応訓練事業研修会(森本会長・石井副会長) 全国精神保健職親連合会総会(森本会長) 第14回全国精神保健職親研究会(森本会長・石井副会長・事務局1名)

[参考1]

- 兵庫県精神保健職親会会員 ..... 66事業所
- // 賛助会員 ..... 117名
- 通院患者リハビリテーション事業協力事業所数 ..... 282事業所

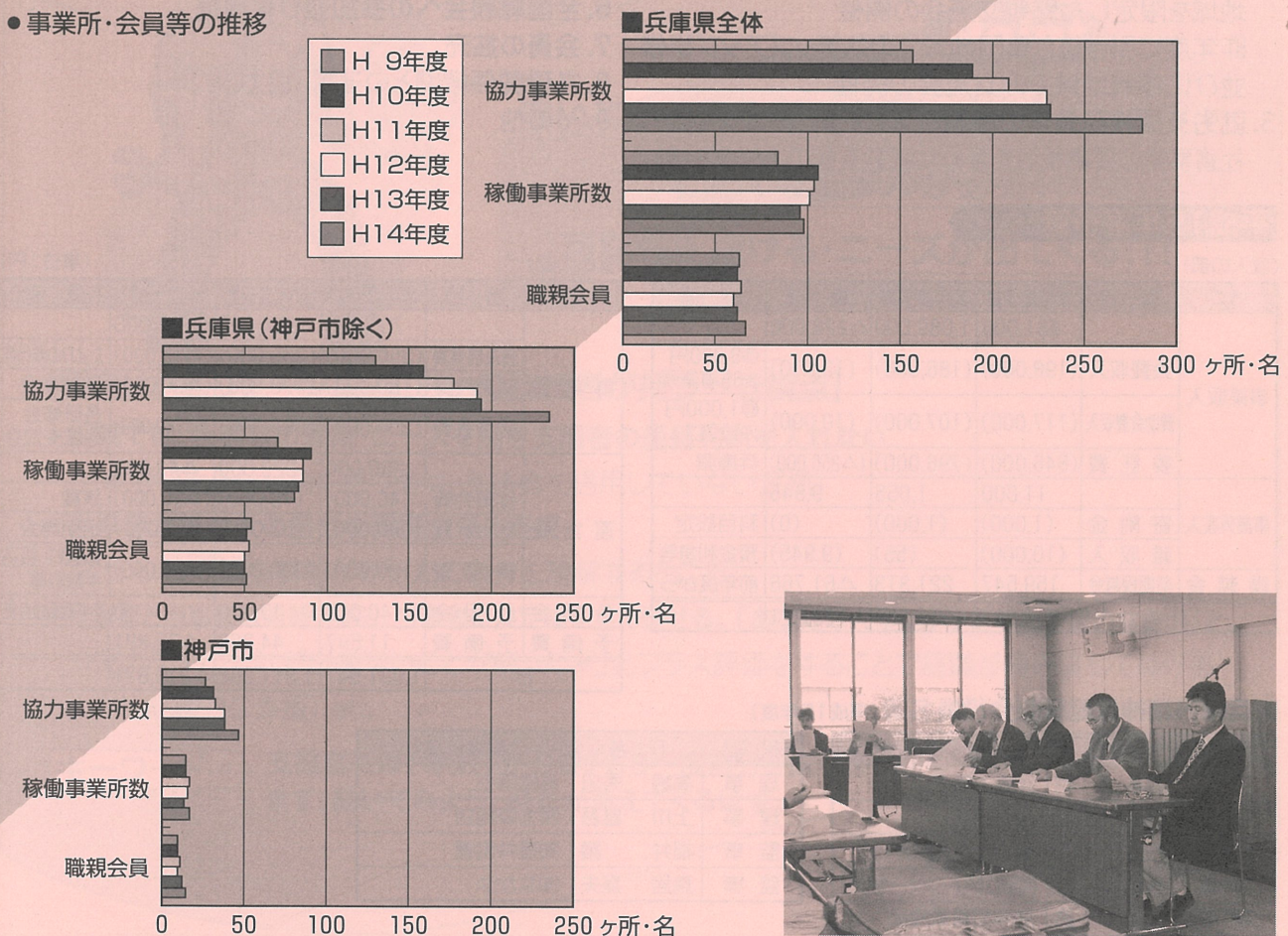
[内訳]

	事業所数(稼働事業所数)	職親会員数
兵庫県	235(81)	52
神戸市	47(17)	14
計	282(98)	66

(平成15年3月31日現在)

[参考2]

●事業所・会員等の推移





## 平成14年度決算報告

(収入の部)

(単位:円)

款	項目	決算額	摘要
事業収入		1,007,000	
	会費収入	(102,000)	@3,000円×34事業所
	賛助会費収入	(109,000)	@1,000円×109口
	委託費	(796,000)	兵庫県 546,000 神戸市 250,000
事業外収入		13,336	
	寄附金	(0)	
	雑収入	(13,336)	貯金利息・ハートフェスタ売り上げ
繰越金	前期繰越金	221,313	前年度から
計		①1,241,649	

(支出の部)

(単位:円)

款	項目	決算額	摘要
事業費		780,599	
	普及啓発費	(463,702)	たより発行3,000部×2回 調査研究報告書
	講演会費	(150,000)	講師謝金
	研修会費	(166,897)	全国研修会・職親会研修会
運営費		261,503	
	役員会費	(86,829)	旅費
	総会費	(47,260)	借室料等
	事務費	(127,414)	郵送料・用紙等の各種消耗品等
分担金	分担金	40,000	全国職親会会費
小計		②1,082,102	
繰越金	次期繰越金	159,547	次年度に繰越(①-②)
計		1,241,649	

## 平成15年度事業計画・予算

今年度(H15年度)兵庫県が厚生労働省へ予算要求した精神障害者社会復帰施設の新設(地域生活支援センター3ヶ所・福祉ホーム3ヶ所・通所授産施設2ヶ所・小規模通所授産施設2ヶ所の計10ヶ所)について、財政上の理由で現在ゼロ回答と社会復帰施策は暗雲の様相です。又就労支援施策についても色々アドバランは上がっておりますが、なかなか利用条件等が進まないのが現状で「社会適応訓練事業」が唯一の窓口だという強い自負を基に、より一層邁進する所存です。本事業の効果的な推進にご理解とご協力を…

### 1. 事業計画

#### 1. 定期総会及び講演会

#### 2. 研修会の開催(年2回)

地域を限定した職親交流会の開催

昨年度に引き続き豊岡地域でのステップアップ研修並びに福崎地域での交流会の開催

#### 3. 就労支援検討会への参画

社適事業の要綱検討を含めた就労支援のあり方を検討

#### 4. 役員会の開催(年3回)

#### 5. 広報普及・情報提供「ひょうご職親会だより」発行

#### 6. 全国職親会への参加並びに連携

#### 7. 会員の拡充

#### 8. 各種関係機関との連携・協力

#### 9. その他

## 平成15年度予算

(収入の部)

(単位:円)

款	項目	本年度予算	前年度予算	増減	備考
事業収入		861,000	1,089,000	△228,000	
	会費収入	(198,000)	(186,000)	(12,000)	@3,000円×66事業所
	賛助会費収入	(117,000)	(107,000)	(10,000)	@1,000円×117口
	委託費	(546,000)	(796,000)	(△250,000)	兵庫県
事業外収入		11,000	1,055	9,945	
	寄附金	(1,000)	(1,000)	(0)	科目設定
	雑収入	(10,000)	(55)	(9,945)	預金利息等
繰越金	前期繰越金	159,547	221,313	△61,766	前年度から
計		1,031,547	1,311,368	△279,821	

(支出の部)

(単位:円)

款	項目	本年度予算	前年度予算	増減	備考
事業費		700,000	904,000	△204,000	
	普及啓発費	(350,000)	(365,000)	(△15,000)	たよりの発行等
	講演会費	(150,000)	(170,000)	(△20,000)	講師謝金
	研修会費	(200,000)	(369,000)	(△169,000)	各研修会・地域交流会
運営費		280,000	323,000	△43,000	
	役員会費	(40,000)	(70,000)	(△30,000)	旅費
	総会費	(60,000)	(53,000)	(7,000)	定期総会
	事務費	(180,000)	(200,000)	(△20,000)	郵送料、払込手数料等
分担金	分担金	40,000	40,000	0	全国職親会会費
予備費	予備費	11,547	44,368	△32,821	
計		1,031,547	1,311,368	△279,821	

### ■兵庫県精神保健職親会役員名簿(平成15年度)

役職	氏名	事業所名
会長	森本 稔	(株)森本鐵工
副会長	西村 稜威雄	西村商店
副会長	石井 建三	(株)イシイリネン
理事	米口 守	(有)米口グリーンナーセリー
理事	細見 勝	(株)伸和青果食品

役職	氏名	事業所名
理事	高嶋 秀忠	高嶋園芸
理事	上川 雄吾	(株)金森商店
監事	福井 護	(株)福井電機
監事	鳥居 嘉夫	(有)なかや



# 講演会



テーマ●「精神障害者理解の手がかり」

神戸市こころの健康センター 所長／柿本 裕一

## 4つの手がかり

- ① 偏見
- ② (職親として) 自分を知る
- ③ 被雇用者(訓練生)を知る
- ④ 自分と訓練生の関係を知る

### 手がかり1 偏見

精神障害者は古来より偏見の対象となってきた。

緊張・ぎこちなさ → こころを開いてもらえない・語ってもらえない

慣れる・緊張がゆるむ → 打ち解けてもらえる・語ってくれる

大切なことは「**知ること**」接する時間が長くなると、無理しなくても解ってくる。

### 手がかり2 (職親として) 自分を知る

「事業主」であり「親的存在」…親には「父性」と「母性」の両面がある。

「父性」: 厳しさ、のイメージ

「母性」: 柔らかさ、のイメージ

大切なことは

「**自分がどういったタイプの職親であるか?**」

両面あることをしっかりと見つめていく。

### 手がかり3 被雇用者(訓練生)を知る

いくつかの共通点… 効率よく作業が出来ない・自分も相手も居心地の悪さを感じる・会話の流れの一貫性を保つ事が苦手・ちょっとしたことでまごつく・うろたえる・戸惑うetc

大切なことは「**個別に時間をかけて知っておく**」、「**病状悪化の前兆を知る**」

### 手がかり4 自分と被雇用者の関係を知る(それぞれ持っている3要素)

職親

P  
(親)

・ A ・ C  
(大人・理性・自我) (子供の側面)

訓練生

社会生活では、Aの部分で接している。C×Cでは社会性に欠け、A×Aでは関係のいびつさやよそよそしさの関係を招く。

大切なことは「**それぞれがどの部分で接しているか?を考える。**」

職親が疲弊しては何にもならない。自分が一番楽な立場で関わること。時には「解らない」と逃げる事も方法。お互いがバテナイよう疲れなないように!!



## ★★★伝言板★★★

### ◆兵庫県・神戸市へ要望書を提出

平成15年度より、社会適応訓練事業が“一般財源化”されることになりました。これを受け当会では、3関係団体（兵庫県精神病院協会・兵庫県精神障害者家族会連合会・兵庫県精神神経科診療所協会）と共に要望書を提出。社会適応訓練事業の一層の充実と進展が図られるよう又本事業が他の労働施策と効果的に繋がっていけるよう要望を行いました。兵庫県からは「前年同様の対応予定」の回答を得ていますが、厳しい状況にあります。

### ◆平成16年度全国精神保健職親研修会 兵庫県で開催

例年実施されております、全国精神保健職親研修会が兵庫県で開催されます。いろいろなアイデア・プラン等どんどん事務局までお知らせ下さい。

### ◆完成!!「精神障害者の就労支援の取り組みに関する調査」

昨秋より、皆さんにご協力頂きましたアンケートを集計しまとめました。併せてダイジェスト版も発行しております。地域における就労支援活動の取り組みに是非お役立て下さい。

### ◆「障害者雇用促進企業等からの物品等調達等に関する取り扱い」について

兵庫県では、障害者の自立支援を強化充実するために、障害者の雇用・就業の場の提供に積極的に努めている企業や授産施設・小規模作業所等に対して、県の物品調達等の優先的発注の取り扱いを行っています。

詳しくは、兵庫県産業労働部雇用就業課／TEL.078-341-7711(内線3772)へ  
(なお、授産施設等に関しては兵庫県健康生活部障害福祉課／内線2967です)

【事務局】

**兵庫県精神保健職親会** (県立精神保健福祉センター内)

〒652-0032 神戸市兵庫区荒田町2-1-29

Tel.078-511-6581 & Fax.078-511-6585

**会員・賛助会員大募集しております。**

年度末に  
HAT神戸(中央区脇浜)へ  
移転予定です。